令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立豊多摩高等学校 学校運営連絡協議会(全日制課程)
- (2) 事務局の構成 教務部主任(主幹教諭、事務局長)、副校長、経営企画室長、計3名
- (3) 内部委員の構成 校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務)、主幹教諭(進路)、主 幹教諭(生活)、計6名
- (4)協議委員の構成 地域有識者1 (大学教授)、近隣中学校長、近隣小学校長、地域代表者、同窓会代表、保護者 OB (2名)、スクールサポーター計8名
- 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要
 - (1) 協議会

第1回 日 時 令和4年6月3日(金)

出席者 内部委員6名、協議委員5名

内 容 本年度の取組と学校経営計画、各分掌から現状と課題・進学指導推進校と しての取組、1 学期の状況について協議委員からの意見集約

第2回 日 時 令和4年11月18日(金)

出席者 内部委員6名、協議委員5名

内 容 各分掌からの報告、学校評価アンケートの内容・形式についてお知らせ、 協議委員からの意見集約

第3回 日 時 令和5年2月17日(金)

出席者 内部委員6名、協議委員6名

内 容 各分掌から報告、学校評価アンケート結果、協議委員からの意見集約

(2) 評価委員会

第1回 日 時 令和4年11月18日(金)

出席者 内部委員3名、協議委員1名

内 容 今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

第2回 日 時 令和5年2月17日(金)

出席者 内部委員3名、協議委員1名

内 容 アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

- 3 学校運営連絡協議会による学校評価
- (1) 学校評価の観点

「教育活動への理解」、「学校生活の意欲」、「教育活動の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

実施時期 12月

対象 全校生徒 932名、保護者 932名、教職員 53名

回収率 生徒 799名 (85.7%) 、保護者 524名 (56.2%) 、教員 53名 (100%)

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・整備、ライフワークバランスなど

- (4) 評価結果の概要
 - ・生徒はおおむね本校の教員の授業について満足しているが、教科・科目によっては不満を感じているものもある。
 - ・生活指導は、保護者からほぼ90%以上の支持率を得ているが、生徒の中には不満を持つ者もいる。
 - ・学校行事への満足度が飛躍的に高まった。
- (5) 評価結果の分析・考察
 - ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について適切な説明をすることが肝要である。
- 4 学校運営連絡協議会の成果と課題
- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・生徒の授業についてのアンケート結果から、さらなる授業改善の必要性がみえた。
 - ・学校の情報発信がやや不足している。

- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題
 - ・近隣の住民は、学校の教育機能をより一層活用したいと望んでいることが分かった。
 - ・地域の人材活用を一層推進しつつ提携を進めていく工夫も必要である。
 - ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供をすべきである。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項
- (1) 学校運営
 - ・生徒・保護者に対して、機会があるたびに学校の教育方針を丁寧に説明し理解を得る。
 - ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化するとともに生徒の声も聴く。
 - ・学期ごとに校内研修会を実施する。
- (2) 学習指導
 - ・生徒を学びに向かわせる枠組みをつくっていく。
- (3) 特別活動
 - ・ポストコロナに向けた学校行事の活性化を図る。
- (4) 生活指導
 - ・コミュニケーションを重視した相談体制を確立する。
- (5) 進路指導
 - ・補習、補講を充実させる。退職教職員ボランティアを効果的に活用する。
- (5) 健康·安全
 - ・健康診断の確実な実施。校舎老朽化への対応を進める。
- 6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合
- (1)協議委員人数 8名
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少	どちらとも	あまりそう	そう	分からない	無回答
	そう思う	言えない	思わない	思わない		
4名	2名	0名	0名	0名	0名	2名

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】新型コロナウイルス感染症予防対策のため参加実績はない。

【成果】委員の意見を参考に、情報発信強化のため学校ホームページの整備を図った。

- 8 その他
 - ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、実施方法など検討の必要がある。
 - ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。